

3月の環境ひろば

環境ひろばのあり方について



より多くの人が参加し、より開かれた場にするために一緒に考えましょう

「環境ひろば」は、市民、事業者、市が一堂に会し、環境に関して自由に意見交換する場として平成16年8月に設置されました。現在、参加者の固定化などが課題になっています。より良い形でのひろば運営について、あなたも一緒に考えてみませんか。

【第252回環境ひろば】（当日直接会場へ）

日時：令和8年3月15日（日） 会場：会議室 201（市役所2階）

●事業者・環境関連団体等とのパートナーシップによる環境体験イベント



手回し発電機やゲームでエネルギーについて楽しく学ぶ、体験型イベントを実施します。

国分寺崖線や生きもののレンジャートーク、間伐材を使ったクラフトもあります。

詳しくは市ホームページ➡



日時：令和8年2月15日（日）午前10時30分～午後3時 場所：cocobunji プラザ 主催：国分寺市

【12月の環境ひろば フリートーク「国分寺まつりを振り返って」】

11月2日(日)に行われた国分寺まつりの環境ひろばブースでは、環境配慮行動啓発のために「脱炭素型スタイルに関するアンケート」と、姿見の池を多くの人に知っていただくために「姿見の池に関するクイズ」「姿見の池の生き物たちのポスター掲示」を行いました(写真参照)。



12月12日(日)には寄せられた回答を参考にしながら、振り返りをしました。

脱炭素型スタイルに関するアンケートは①LED 照明への切替②エアコンや冷蔵庫など省エネ家電の買替③窓やドアの断熱化④太陽光発電機器・蓄電池の設置⑤再エネ電力への切替⑥節電や節水、ごみの分別など省エネアクション、以上 6 項目。以下フリートークで出された意見の概要です。

理解してはいるが踏み出せない！どうする？

「③⑤は費用対効果の高い脱炭素行動だと理解しているが、選択している人は少ない。再エネ電力に切り替えない理由はほぼ同じだろう。促進するためには、市民が安心して選べるように情報提供等手立てを工夫する必要有。」

成果は？この結果をどう生かすのか？

「回答者は小学生から大人までと広範囲にわたり、世帯主以外の回答が入っている。アンケート数値を生かすにはさらに分析する必要がある。」「姿見の池クイズの回答率は 51.7%であった。ひろば会員提供の写真を活用した姿見の池のポスターを掲示することで、通りすがりの人にも声がけができた。」「環境配慮行動



について興味のない人へも訪れて見てもらうことで、まずは知ってもらえた。」「まずはお金がいかに少ない省エネ行動を皮切に案内していくことも検討できる。」「国分寺まつり出店の目的は、環境ひろばのアピールという側面が大きかった。チラシをまくだけ、アンケートを取るだけではアピールにもならない。今後のやり方について要検討。」他に、「気候変動によって日照量の多さ、雨水の少なさでこくベジにも影響が出ていると聞くので、農産物の経営についても検討していったらどうか」という意見も出されました。

環境ひろばのお知らせ

3月15日(日)午前10時～正午 市役所 会議室201(泉町2-2-18)

『環境ひろば』は、環境(保全、回復、創造)について市民・事業者・市が自由に意見交換を行う場です。皆さんのご参加をお待ちしています。

(あとなぎ)

地球環境というグローバルな問題と、自分の暮らしとを繋げて考えることはできても、実行に移すことは極めて難しい、それでもできることを少しずつ継続していく、それには市と市民との協働が必要であることを痛感しました。(会員 鈴木)

国分寺市環境ひろば
事務局

国分寺市 まちづくり部 環境経営課
〒185-8501 国分寺市泉町 2-2-18 市役所3階
TEL:042-312-8663(直通)
FAX:042-325-1380
Eメール:kankyokeiei@city.kokubunji.tokyo.jp